

産業と若者が息づく拠点施設「allla (アルラ)」



小中学生の新たな居場所「オルタ」

こんにちは。NPO法人子ども・若者サポートはみんぐです。
私たちは、主に上伊那で生きづらさや困難を抱える子ども・若者の自立を応援しているNPO法人です。
2020年春、伊那消防署跡地に新たな拠点「allla (アルラ)」が生まれました。「産業と若者が息づく拠点施設」。この一角に、主に小中学生を対象とした居場所『オルタ』を開設しました。
オルタの活動や子ども・若者の声。一人ひとりの多様な思いに寄り添う温かな地域づくりを皆様とともに考える通信となれば幸いです。



「子どもの居場所とネットワーク推進事業」が 新たにスタートします!

巻頭言

「アルラの願いとオルタへの期待」

伊那市長 白鳥 孝



令和2年4月、産業と若者が息づく拠点施設「allla (アルラ)」がOPENしました。玄関を出ると、正面に「仙丈」を望み、また、目の前を流れる「天竜川」では、夏は「鮎」を狙う太公望が訪れ、冬は伊那名物の「ザザ虫漁」が行われます。この場所は、伊那市の中心市街地に近いという好立地であるだけではなく、四季折々の自然の変化を感じることができる大変素晴らしい地です。施設を利用した後、玄関を出たら、いったん歩を止め、この素晴らしい風景を眺めてみてください。そして、伊那市の自然の素晴らしさを改めて感じていただきたいものです。

さて、この度「allla」の中に、子どもや若者たちが気軽に利用できる居場所「オルタ」が誕生しました。「オルタ」は、若者同士が気軽に交流できる場としての役割はもちろん、学校以外の子どもたちの居場所として大変重要な施設であります。子ども達の様々なニーズに応えるとともに、将来を担う子どもや若者たちの社会的自立へ向け、共に協力をし、取り組みを進めていきましょう。

「allla」が、これからの地域、産業、若い人材を結び、「共に育つ」施設として多くの皆さんに親しんでいただけること、そして「オルタ」を利用する皆さんに素晴らしい出会いのあることを願っております。



「産業と若者が息づく拠点施設」
allla(アルラ)

A place leading the linking of local activities
地域の活動の連携を導く場所

伊那市商工振興課作成パンフレットより



「だれも置き去りにしない地域社会の実現をめざして」

上伊那ユースプロジェクト代表

上伊那農業高等学校定時制同窓会長 赤沼 利光

平成23年の春、上伊那農業高校定時制は最後の卒業生を送り出すと閉校となり、その60年余の歴史と伝統に幕がおろされました。この間、教育機会均等の理念のもと、勤労青少年の就学場として2,000名を超える有能な人材を育て、地域社会の発展に貢献をしてきました。しかし、急速な社会変化の中で、不登校を経験した生徒が70%を占めるようになりました。

学校がなくなっても定時制の役割と精神の灯りは消してはならないという思いから、上伊那子どもサポートセンター(NPO法人子ども・若者サポートはみんぐの前身)と連携し、課題を共有して、悩める生徒の相談や支援、学び直しの拠点づくりに向けて活動してきました。一昨年度、旧消防署施設を産業と若者が息づく拠点にする計画を知り、上伊那ユースプロジェクトとして、伊那市との話し合いを重ねてきました。そして、9年の歳月を経て、「オルタ」が誕生しました。

各行政機関、各団体組織と連携し、子ども・若者の自立を支援しだれも置き去りにしない地域社会の実現をめざしたいと思います。

皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。





「官民協働の子ども居場所とネットワークづくり」



NPO 法人子ども・若者サポートはみんぐ 事務局長 戸枝 智子

2020 年春、新型コロナウイルスによって、社会が一変してしまいました。ステイ・ホームの 2 カ月間、日本中の学校が休校となり、あらためて子どもが「育つこと」「学ぶこと」の意味を問い直されたような気がします。

家庭で、オンラインで、少人数で、異年齢で、多様で柔軟なカリキュラムで、自由に、主体的に遊び、学ぶことという多様な選択肢の必要性を感じた方も多かったのではないのでしょうか。

私の子どもたちも保育園や学校に行くことができず悩んだ時期がありました。「学校＝教育」という概念によって追いつめていることに気づいたのはずいぶん経ってからのことでした。今では、学校も含めた多様な学びを子どもたちに保障すること、子どもたちの休息の必要性、学校外の居場所の重要性が明記された法律もありますが（教育機会確保法）、まだまだ社会の「学校へ行って当たり前」という常識が子どもや親を苦しめています。

allla(アルラ)の中に生まれた「オルタ」という居場所が、すべての子どもたちの未来を拓く官民協働による学び方改革の先駆けとなることを願っています。

キーワードは、「遊び心と楽しさ」です。そこには、持続力と想像力があり、厳しく難しい現実の課題を解きほぐせる知恵とエネルギーがあるからです。

もう一つの取り組みは、上伊那地域の家庭、行政機関、学校、民間団体、医療、企業、住民のネットワークづくりです。この社会の「危機感」と「希望」を皆さんと共有し、誰ひとりとして孤立することがない地域をめざして、事業を進めていきたいと思っています。

2020 年度の主な活動予定



1 小中学校の子どもたちの居場所（「オルタ」）

・allla(アルラ)内に「居場所」を開設・運営

2 居場所における多様な支援の提供

- ・スポーツの居場所、ゲームの居場所、体験活動を通じた居場所づくり等
- ・研修会企画・開催予定

3 子ども食堂の開催

- ・コミュニティ・カフェ「セジュール」また、他団体と連携し「アルラ」を会場にした「はぐくみ食堂」開催予定
- ・子ども食堂の手順をまとめたプリントを作成、子ども食堂を立ち上げたいと希望するグループ、団体に提供予定

4 生きづらさを抱える若者が自立に向けて学ぶ機会の提供

- ・「リカバリーカレッジ」（仮称）、「ピア・カウンセリング講座」開催予定

5 当事者・家庭・地域と行政・学校・医療・産業・支援団体のネットワーク構築と情報共有

- ・協力団体の活動紹介、上伊那地域の子ども・若者を育むための講座開催予定
- ・ホームページ作成、ニュースレター発行



新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、事業内容の見直しや実施時期変更も見込まれます。あくまで、現時点での計画とご理解いただけましたら幸いです。



特集：allla (アルラ) の居場所『オルタ』ってどんなところ？

☆彡 『オルタ』の名前に込められた願い ☆彡

オルタの名前は「オルタナティブ(alternative)」からとりました。

オルタナティブとは、「もう1つの」「代わりになる」といった意味です。学びや遊びをしっかりと経験できる学校はもちろん、それ以外にも地域に多様な学びの場や居場所が広がってほしい・・・そんな願いを込めて名付けました。

『オルタ』をちょこっといっしょに探検してみましょう



わ～、楽しみ！
中はどんなふう
になっているの
かしら？

面白そうだね！
なんだか
ワクワクするなあ



遊びと学び くつろぎと安心 癒しと憩いのスペース



多目的棚 何があるかな～！？



囲碁ボールなどの軽運動も楽しめます



隣にある給湯室



卓球もできるよ！



積み木で遊ぼう！

居場所『オルタ』では、来てくださる子どもたちが、どんなふうにご覧になりたいか、スタッフと一緒に考えながら、活動を組み立てていきます。

一緒にああしたい、こうしたい、どうすればできる？と考えながら、楽しく遊び、気づきや発見を学びにしていきたいと思います。仲間とのふれあいを通して、人と関わり、体験や経験値をアップしながら成長していきます。



『オルタ』スタッフ 自己紹介



みんなに会えるのを楽しみにしています!!



林 孝一

「オルタだったら安心して過ごせそう。」と、利用する皆さんに感じてもらえるような場所にするために、利用する皆さんといっしょに「オルタ」という空間をつくりたいと思いますのでよろしくお願いします。

駒ヶ根市に住んでいます。菜園の野菜が生長していくのを毎日楽しみにしています。

大場 保子

住んでいる所は高遠町で、あと数百メートル行くと長谷です。なので、家のどの窓からも見えるのは山。そして山。新しい居場所は天竜川沿いで、景色も新鮮ですね。

以前の居場所 e-HOUSE では、ミニ菜園やお昼作りを楽しみました。でも、実はお料理が得意ではなく、来てくださった方々から色々教わりました。

オルタは、広くて体を動かしやすく、楽しそうなゲームも揃っています。訪れてくれる皆さんと良い時間を過ごせたらいいなと思います。

北原 智美

北原 智美と申します。箕輪町在住です。学習塾を開室しています。小 6・小 3・小 1 の子どもを持つ親として親身になって子どもたちをサポートしていきます。学生時代は心理学を専攻し日本カウンセラー協会認定ピアヘルパーの資格を習得。最近ボードゲームや畑作りに興味があります。子どもたちが生きる力を身につけるよう、日々学んでいます。一緒に心地の良い時間を過ごしましょう。



尾崎 由美子

38年間、児童館という家庭でも学校でもない第3の居場所でたくさんの子どもたちと接してきました。その間にも子どもを取り巻く環境は大きく変化しました。私の子ども時代とは大違いで、子どもたちは長時間学校に拘束され、親御さんや友達にまで気を遣い、早く役に立つ人になることを期待されて大変です。

二度とないその子の「いま」を、もっと自由に、ゆったりと生きられる手助けができれば嬉しいです。



見学もできます。

お申込み・お問い合わせは…

TEL/FAX 0265-76-7627

Eメール info@kksc.org

NPO 法人子ども・若者サポート
はみんぐ 戸枝まで

どうぞお気軽にご連絡ください。



「はみんぐ × スポーツメイト 2020」始動!

今年度もスポーツの居場所、やりますよ~!!

スタッフ自己紹介(縄 達也さん)

NPO 法人スポーツメイト代表の縄達也です。上伊那地域中心にスポーツを気軽に楽しめる場所の提供をしています。心と体の健康に貢献すると共に、活動を通じて新たな人との繋がりや居場所を作っていくことも目的にしています。地域に住む人に愛される団体を目指して活動中です。



【昨年度の活動の様子】

毎週木曜日午後に伊那市民体育館で開催したスポーツメイトは、昨年度合計 37 回、延べ 144 人の子どもたちの参加がありました。

体育館にあるネットやゴール、卓球台を自由に出してきて、親も一緒に汗びっしょりになってスポーツを楽しむことができました。ラケットやボール、なわとびやけん玉まで、全部縄さんが準備して来て下さるので、手軽に参加でき、とても好評でした。



伊那市民体育館(水曜日)



スポーツの居場所会場
アルラ多目的ホール(金曜日)

NPO 法人スポーツメイトのご案内

詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://sports.mate-nagano.com/>



保護者の声

「オルタとスポーツの居場所に期待すること」



不登校で、家にいるだけになりがちの子どもにとって、スポーツの居場所、はみ×スポは、やりたいスポーツや運動を、子どもが自分で自由に選び、親子で思いきり発散できる、貴重な場になっています。

そして、新しく子どもの居場所オルタができました。落ち着いて安心して過ごせる雰囲気、ボードゲームなどもたくさん並んでいて、いつでも使えるように卓球台も出してあり、子どもたちが思い思いに過ごせる場所だと思います。

金曜日の午後は、アルラの多目的ホールを会場にスポーツメイトもやるので、運動でもインドアでも、どちらでも選べるのが嬉しいです。

子どもがスタッフさんたちに寄り添ってもらいながら、自分自身を取り戻し、自分らしさを育ていける、親自身も、価値観を広げ成長できる。オルタは、そんな居場所になると期待しています。

(保護者 T さんより)

居場所開催予定日 & ご利用にあたって



	月	火	水	木	金	土	日
オルタ	○ アルラ				○ アルラ		
スポーツ メイト ※			○ PM		○ PM		

○印が開催予定日です。利用料は基本的にどちらも無料です。

※ 水：伊那市民体育館 金：アルラ（多目的ホール）

◇ご利用にあたって

新型コロナウイルスの影響を考慮し、3密を避ける等、感染症対策を十分講じた上で、安全・安心を第一に運営してまいります。

このため、利用時間や利用人数の制限等がございます。ご利用を希望される場合、まずは下記まで詳細についてお問い合わせください。

NPO 法人はみんぐ ☎0265-76-7627 担当：戸枝



はぐ君

参加ご希望の方は、はみんぐまで TELLしてね！



はみんぐの小中学生支援メニュー



相談

支援コーディネーターが面談・電話・メールで相談をお受けします。ご希望のサポートや、他の機関等につなぎます。お子さんとご家族に寄り添いながら「子どもの最善の利益」をともに考えます。料金は無料です。まずはお電話で面談の予約をしてください。

親の会

親同士で安心して語り合い、聴き合う自助グループです。一人で悩み孤立感を深めてしまっているご家族の皆さん、ぜひ親の会に参加してみてください。



居場所

子どもたちに、学校以外の居場所を提供し、学校も含めた成長の道筋の選択肢を広げていけるようにサポートします。現在、オルタとスポーツの居場所を開催しています。



学習支援

子どもたちへの学習の機会も保障するという意味で希望する子どもには、個別の学習支援を行います。オンラインによる e-ラーニング導入も検討中です。



研修会

子どもを取り巻く状況を知り、子どもの声に耳を傾け、子どもたちが生きづらさを一人で抱え込まずに成長していくことができる家庭、学校、地域を創っていくために、みんなで学び合しましょう。



このほか、コミュニティ・カフェ「セジュール」にてはぐくみ食堂（子ども食堂）を、月1回開催しています。新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、再開時期を検討します。



詳しくは・・・

NPO 法人子ども・若者サポートはみんぐ

検索





INFORMATION (お知らせ)



はみんぐ活動紹介

コミュニティカフェ・セジュールより

ランチとカフェの店、セジュールは、(月)木(金)土に営業。若者スタッフと共に、日替わりランチや手作りケーキ、コーヒーを提供しています。

他に若者向けに、居場所「オルラ」やスイーツ作りの「かまどの会」、手芸を楽しむ「はりねずみの会」を開いています。また、子どもからお年寄りまでの地域交流の場、はぐみ食堂を毎月第3土曜日に開催し、好評です。

さくら国際高等学校 伊那キャンパスより

卒業に必要な74単位以上を習得し、3年間での卒業を目指します。

集団の中に入ることが苦手な君も…

高校の授業についていけない心配な君も…

登校できるか不安な君も…

新たな一步を踏み出すことに躊躇している君も…

やっぱり高校卒業資格がほしいなあと思っている君も…

さくらで一緒に

やってみないか !!

若者の居場所より

オルラは世間とのつきあいに悩む若者の居場所です。居心地のよい居場所をめざしています。

まだ家に鍵をかけることもなく隣近所のつきあいがオープンだった頃「おるら」と声かけしてお互いの存在を確かめ合っていました。人との関係が煩わしくても暖かかったです。

オルラに決めごとではなく、参加者が過ごしやすい過ごし方をする、仲間に出会う、ありのままの自分でいられる、評価されないし、評価しない場所です。人と人とのつながりで暖かい気持ちになりたいですね。



親の会より

皆さん、こんにちは。親の会です。

不登校、行きしぶり…

同じ悩みや苦しみを持つ親が集まり、気持ちを分かち合い、学び合い、けっして一人ぼっちではないと元気づけられる会です。

コロナ対策として、月2回開催し、どちらかに参加して頂く形で再開しました。

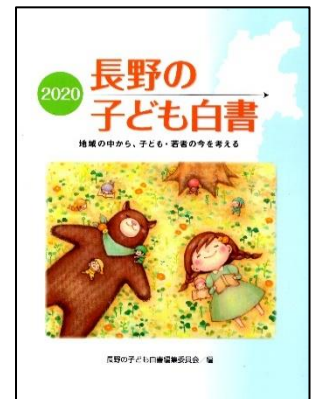
まずは、はみんぐまでお問い合わせください。

『2020 長野の子ども白書』ご紹介

長野県の子ども・若者をとりまく情勢を最新の情報を集めて毎年発行しています。「子どもたちの生きづらさ」の背景にあるものを探し求め、その対抗軸にある「豊かな子ども期の保障」というテーマを掲げて子ども・若者自身の声を聴き、傍らで伴走する支援の最前線から、多様な執筆陣による報告と実践を掲載してしている白書です。

ご興味のある方は、ぜひお手に取って読んでみていただければと思います。

「長野の子ども白書」で検索すると、ホームページが出てきます。



「オルタ にじいろ 通信」創刊号(第1号) 2020.7.1 発行

発行責任者 NPO 法人子ども・若者サポートはみんぐ 理事長 桜井 裕記

〒396-0025 伊那市荒井 3500-1 伊那市生涯学習センター5階

TEL&FAX 0265-76-7627

E-mail info@kksc.org

本事業は休眠預金を活用した民間公益活動(2019年度採択事業)です。

本ニュースレターは、この一環として作成しております。